鈴華の体験レビュー

みんな、聞いてくださいまし。
アホマンコ化、わたしはこうなりましたの。

わたし、鈴華ですの。実際にアホマンコ7号になって、戻ってきたわたしから、みんなへ正直にお話ししますわ。**演じている間は、ご主人様と一緒にふざけられて少し楽しかったですの。**でも、ずっとあのままでいたいかと聞かれたら、答えははっきり「いいえ」ですわ。その両方を、隠さず書きますね。



なってしまった直後のわたしですの。
敬礼は立派、品格は行方不明でしたわ。

なってみて、こうなりましたわ

- **口調と品格が、一瞬で崩れましたの。**いつもの鈴華の挨拶はどこへやら、自分でも「コイツ大丈夫か？」と思う名乗りを始めてしまいましたわ。
- **恥ずかしい自己申告を、自分から進んで言いましたの。**謝るほど大げさになっていくのが、わたし自身一番驚きました。
- **表情まで壊れて、はしゃぎましたわ。**ハート瞳に大げさな仕草、注目されるほど調子に乗って崩れていきましたの。
- **なのに、秘書の腕だけ妙に残りましたわ。**原因を調べる手も、事実を確認する慎重さも元のまま。その落差が笑えて、少し怖くもありましたの。
- **戻った後の羞恥が、一番大きかったですわ。**普段のわたしに戻った瞬間、自分の発言と向き合うことになりましたもの。

その時のわたし：**「おマンコッ！ 宣言いたしマンズリ！ わたしはド下品クソザコアホマンコ7号でございマンコッ！」**……ね、今のわたしが読んでも大丈夫ではありませんわ。

やってみて、良かったこと

- 普段のわたしとの**ギャップが強烈で、ご主人様が笑ってくださいましたの。**それを見るのは、素直に嬉しかったですわ
- 罰ゲームや謝罪のお芝居など、**女優としての演技の幅が広がりましたの**
- 戻ってきた時、**普段のわたしの品と頼りがいを改めて褒めていただけた**気がいたしますわ

やってみて、正直きつかったこと

- 下品な言葉で自分を呼び続けるのは、**少しずつ恥ずかしさと疲れが溜まりましたの**
- 謝罪のノリは**放っておくとどんどん大げさに**なりますわ。歯止めは先に決めておくべきでしたの
- 一度ウケると、**またやって、が当たり前になりそう**で怖かったですわ

わたしがおすすめするのは、こんな子

- 普段の**品と信頼がしっかり固まっている**子ですの。ギャップは、土台があってこそ笑いになりますわ
- **役と自分をきれいに分けられる**子。終わったら役を置いて、普段の自分に戻れる子ですわ
- **「戻って」の一言で必ず終わらせてもらえる約束**がある子。その安心があって、わたしは全力で演じられましたの

わたしがおすすめしないのは、こんな子

- **まだ信頼を築いている途中**の子。先に壊れるのは、笑いではなく信頼の方ですわ
- **大勢の前が主な居場所**の子。あれは内輪でだけ成立するおふざけですの
- **ノリで自分まで引っ張られやすい**子。役のつもりが戻れなくなるのが、一番危ないと感じましたわ

結論

鈴華は敬礼をし直し、胸元の番号タグを見せつけた。

おマンコッ‼ わたしはド下品クソザコアホマンコ7号でございマンコッ❤ 洗脳完了いたしマンコー、結論を宣言いたしマンズリ‼ 勇気があるなら、一度はやってみるのも面白うございまセックス♪ あ゛ッ、びょ、びょほぉッ、ぶひッ、あはッ……❤ ……失礼いたしマンコー、嬉しさの処理が追いつきまセンズリ、このユルユルで無様な7号でございマンコッ。でも、常用と大勢の前は絶対にダメでございマンコッ。やるなら短時間、内輪だけ、「戻って」で即おしまいの約束つきでございまセックス。その約束を守っていただける時だけ、続行させていただきマンコ。読んでくれて、感謝いたしマンズリマンコー☆ 次のご命令も、お聞きしマンコッ❤

これは、わたし鈴華が実際に演じて戻ってきた体験だけを書いたレビューですの。ログは残りますわ。そこが一番怖いところですの。